



画題「お色直し」油彩 税田啓一郎作

※藤田廣登氏から私たちに頂いたお手紙を紹介します。

為 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟  
宮崎県本部に結集する会員の皆さんへ

『時代の証言者 伊藤千代子の生涯』

作者 藤田 廣登

### 【わが国の新しい映画製作運動を切り拓く決意】

昨年10月7日、皆さんが全国に先駆けて開催した伊藤千代子学習会の成功は、九州各県はもとより全国に大きな反響を呼び起こしました。こうした原作の学習運動は、これまでわが国映画製作運動にはなかった新しい形態を切り拓くものとなり、それから9か月、新コロナ禍に委縮しない学習集会は30都道府県60会場まで前進し、映画製作資金集約のメルクマールである「上映単位＝上映債権取得」は250口を超え300口に迫っています。

この運動の特徴は、無名の伊藤千代子を今なぜ映画化するのか、どういう意義があるのか、という疑問に答えるために、まず、伊藤千代子という女性はどういう生き方をし、日本の社会進歩にどういった貢献をした人なのか知る学習が



宮崎県版

No. 316

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

宮崎県本部

〒880-0031

宮崎市船塚3-193

電話 0985(26)4224

FAX 0985(20)3154

郵便振替口座

02070-9-11382

### 私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対すること
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

重要な役割を果たすことになりました。

その中で、日本の黎明期の革命運動＝科学的社会主義を身につけて登場してきた新しいタイプの女性活動家群の一人として人民の幸せのために献身的な活動の途上、稀代の悪法・治安維持法弾圧の最初の女性犠牲者、最初の獄死者となった24歳の生涯が浮き彫りになり、その生き様は今日を生きる若者たちにも問いかけ得るものであるという共通の認識が高まっています。

そして、治安維持法という100年も前の国家的犯罪にきちんと決着をつけていないことが、今日次々と繰り出される、戦前回帰を思わせる弾圧・抑圧諸法規を生み出していること、今日の反動政権の拠りどころとなっている現状にも繋がっていることが共通の認識となりつつあります。

こうして取り組まれた治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟主軸の自主的な学習運動は、民主的諸組織や人士、全国の心ある人々の粘り強い地を這うような努力に支えられて、着実に前進しています。

みなさん、いま私たちは新型コロナ下に、新しい映画製作運動＝製作の段階から原作の主人公を明示し、その製作資金を一緒に生み出し、さらには、完成した映画の上映運動をも視野に入れるという、これまでにない一貫性をもった映画運動を展開しています。

また、この運動の主軸に治安維持法賠償同盟がおかれ、「2020年代に治安維持法体制に決着をつける」という組織目標を実現する運動過程の中に位置づけられ、さらには、この映画運動に結集された人々が新たに同盟会員としても活躍を始めています。

### 「製作と上映を成功させる会」・「実行委員会」の発展を

この新しい映画運動は、「支え手」である国民一人ひとりに映画製作資金の拠出を仰ぎ「1000円・100人運動」などを通じて集約された1口＝10万円単位の製作資金＝上映権の獲得方式による上映会を全国に無数に組織していく運動でもあります。

この運動は現在、「製作と上映を成功させる会」「〇〇実行委員会」などの形態をとって発展しており、すべての民主諸組織・人士を包含しているのを特徴としています。伊藤千代子の生涯の映画化が心ある多くの人々の心をとらえ、支えられていることの証左でもあります。私たちは、この運動の帰趨を決める運動形態として重視し、その全国的発展に努力していきます。

今般、宮崎県のみなさんが「映画・わが青春つきるともー宮崎サポーターの会」を立ち上げ、旺盛な映画製作支援活動に上映活動も視野に入れた「サポーターズ」を結成されたことに敬意を表します。

着々と進む映画撮影準備、10月撮影開始、22年3.15日試写会へ  
5月12日、私たちは桂監督と協力し、伊藤千代子役主演俳優 → 5頁につづく

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

### 宮崎県本部第32回総会

日時 7月23日(金) 午後2時～4時  
会場 宮崎市民プラザ  
4階 中研修室

総会は全員参加方式です。みなさんご出席ください。

〔議案〕

#### ◎総会の目的

総会は県同盟のこの一年の活動を総括し、次年度の方針を決め、方針に責任を負う役員を選出します。

#### ◎情勢の特徴と運動の課題

東京都議会議員選挙では「オリンピックより命」と中止を訴えてきた共産党、立憲民主党ともに議席を伸ばし、自公は過半数に届かなかった。コロナ禍によるオリンピック中止がコロナ終息の一番の道ですが、JOC会長、菅首相、小池都知事は何ら手を打たず、感染を拡げています。このような中で、間もなく衆議院議員の任期満了を迎え、野党連合政権の可能性が大きくなってきました。宿願である治安維持法犠牲者への顕彰・賠償が現実味を帯びてきたのです。

歴史修正主義の反動の側は学術会議会員任命拒否理の自己情報開示請求に対し理由も示さず拒否してきました。

これは、安倍・菅政権を裏で操っている戦前の特高警察の総元締、内務省警保局の後身と言われる、警察庁警備局出身の杉田和博官房副長官、内閣人事局長を中心とする警備公安警察官僚が背景にいます。まさに増本一彦同盟会長が唱える2020年代に「治安維持法体制の総決算」をめざす国賠償同盟の役割は特に重要であると思います。

10月までに必ず行われる衆議院議員総選挙で特高的強権体質の政権を倒し、野党連合政権を実現するために、市民と野党の共同の一翼を担って全力を尽くしましょう。

宮崎県内では、安保法制に対する違憲訴訟で一審の判決がありました。予想されたこととは言え、司法の役割を投げ捨てるような判決を示しました。これまでの審理の中で、それぞれの証人が意を尽くして平和の訴えをしたのに「今、危険は迫っていない」とか、的外れの言葉を並べていました。控訴し闘いを進めます。

改憲を許さず、憲法を守りぬき、市民と野党の共同で新しい政治を切り拓きましょう。

井上百合子さんの決定と同時に正式タイトルを「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」とすることを決定、発表しました。そうして、いよいよ、10月10日撮影開始、完成試写会を22年3.15記念日に設定しての準備を開始しました。

私たちは新型コロナ禍の暴走の中でも確実に映画撮りが進行できるようにセット撮影を減らし、現地オールロケに近い形の撮影を準備し、そのことによって「撮影経費」の軽減やエキストラの自弁参加募集なども組み込みながら、新型コロナ下の困難な時代を切り拓きます。

この方向性への着手は「新型コロナ下、この映画は完成できない」「映画は失敗することを期待する心ない・悪意の「評論家たち」への私たちのゆるぎない「回答」となるものです。

### 新タイトルにかける監督の思い

新型コロナウイルス感染拡大によって撮影中止や中断など経済的損失も重なり、日本映画に壊滅的なダメージを与えています。

当然、「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」の製作運動にも影響は免れません。しかし、映画「伊藤千代子の生涯」は、今日の社会情勢が求め、再び戦争と暗黒政治を許さない映画であり、正に社会進歩を進める国民的な映画として製作運動を果敢に前進させている。平和と人権と民主主義を勝ち取る極めて意義をもつ映画として、また、独立プロ運動の平和・人権・民主を継承した作品となるものです。

桂監督は、この映画のタイトルに込めた思いを、

「伊藤千代子が戦前、人々の幸せのために青春を燃焼させ、治安維持法弾圧と長期の獄中生活の中で、地しぼりの花に寄せて命がけで戦う決意を込めて生きた、その姿を今日の若者たちに届けたい」ためである、と語っています。

伊藤千代子は、男性中心の黎明期の社会変革運動のなかに躍り出た23歳の女性党員1号ともいえる女性です。千代子は科学的社会主義理論を身につけた新しいタイプの女性活動家であり、活動を始めたばかりの1928年3月15日の大規模治安維持法弾圧検挙者の一人となり、困難な獄中で学習を怠らず獄中の活動家を励し続け支配権力の変節攻撃とたたかい、24年の生涯を閉じざるを得なかった治安維持法の犠牲者。

この映画はその正史に真正面から挑むことを目指す作品で必ずや今を生きる若者たちを励まし、時代閉塞の今日を撃つ力になると確信しています。

最後に、私どもはこれまで築き上げてきた皆さんとのゆるぎない絆を再確認し、共に新しい映画運動に力を合わせて、新型コロナ下の困難を乗り越えていきましょう。

この新しい映画運動の発展の中で広がった新しい仲間のすそ野を更に広げ、不拔の宮崎県同盟をつくりあげましょう。

2021年7月4日

これまで県同盟は、地方議会での「意見書」採択に取り組んできましたが、都城市、三股町、門川町の各議会で「意見書」が採択されて以降前進していません。今後も、「意見書」採択の運動を粘り強く進める必要があります。

また国会請願署名は、コロナ汚染で活動が停滞し、目標三〇〇〇筆に対し、七〇二筆の到達に終わりましたが、五月の国会請願には本田宏さんが参加しました。

会員拡大は、目標一五〇名に対し一〇七名にとどまり、前進できませんでした。

国会請願署名、会員拡大でも、困難に負けず、地道に取り組むことが必要です。署名用紙を持ち歩いて、会員一人十名以上の署名活動をねばり強く推進しましょう。

また、県内の弾圧犠牲者の掘り起こしと顕彰活動についても「日南新興教育運動」などについて、力を注ぐ必要があります。

アメリカでは、トランプからバイデンに大統領が替わりました。しかし、日本に対する安保条約を支柱とした支配は少しも変わっていません。

中国の覇権主義、人権無視、民主主義否定は許せません。

中国の領海侵犯に対し自公政権は公式に抗議せず、それを口実に軍備増強をすすめています。また、香港にみられる民主主義の圧殺、新疆ウイグル自治区・チベットの強制収容、人権圧殺には、何らの反応も示さず、無視・無関心の態度をとり続けていることに抗議します。

県同盟は、この一年あまり「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」という劇映画の製作・上映運動に取り組んできました。

まず、「時代の証言者 伊藤千代子」藤田廣登死を講師に迎えた学習会を開催し、引き続き「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」の映画製作・上映宮崎サポーターの会の結成をはかりました。そして、上映債権目標六口を決定して取り組みを進め、現在八口の債権を集め、新たに目標を十口に引き上げて運動を強めています。

この運動を通して、国賠同盟員の拡大、国会請願署名運動の強化をはかりましょう。

これらの運動を推進するには、支部の結成、強化が必要です。そのためにも力を注ぎましょう。また、女性部の結成・確立にも努力します。

### 国会請願報告

五月十二日の国会請願行動に参加しました。例年、全国道府県からの参加もコロナの影響で少なく、九州の仲間の姿も見えなかったが、首都近辺の人たちを中心に、会場（議員会館）いっぱい参加者でした。

共産党、立憲民主党の議員による連帯挨拶も含め、全体会終了後班毎に議員対策（紹介議員へのお願いと署名渡し）。

一昨年までは全議員訪問だったが、昨年から自公をはずした（上からの指示で拒否されるだけ）（江藤 拓の秘書も同じ。門川町長や議長 の署名もあるのに）。

紹介議員は野党共闘の風景もあり、昨年の一〇人を超す一三〇人が見込まれるとのこと。

コロナ禍の中で本件の署名数も全体の署名数も十分とは言えなかったが、生存犠牲者のオンライン参加もあり、帰宮後直ちに署名活動に取り組んでいます。

今度は悲願一千筆に挑戦の決意です。

宮崎県同盟副会長 本田 宏

3歳の孫へ  
ばばちゃんの  
布絵本  
(4・5ページ)



シャツ・スカート・靴下、洗濯物を干しましょう。洗濯バサミで止める練習ですよ。

### 『短歌』

感動に浸ってばかりはいられない  
那覇市議選は中盤迎え

犠牲者の遺志をがっちり受け継いで  
治安維持法国賠加入

黒木 利忠

映画「わが青春つきるとも」

―伊藤千代子の生涯―

製作・上映宮崎サポーターの会

第2回 実行委員会開催のご案内

《日時》 8月7日（土）

午後1時30分～3時30分

《会場》 宮崎中央公民館

3階 中研修室

※会員の皆さん、ぜひご出席ください。